The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	思い出の記
Author(s)	辻野, 直三郎
Citation	makoto. 1977, 20, p. 2-2
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/86158
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

思い出の記

財団法人 大阪防疫協会
理事長　辻野直三郎

はじめに

創立三十周年を迎えるに際し不敏の私達に対して、かわらない暖かい御指導、御鞭撻を賜わりました大方各位にここにあらためて深甚の御礼を申上げますと共にさらに一層の御支援を下さいますよう切に御願い申上げます。

思い出

三十年にわたる思い出の中にその一端を偲ぶことと致したい。

◎大阪美化展と夏季衛生展覧会

昭和二二年八月一日から八月二〇日まで大阪府、大阪市、大阪朝日新聞社、大阪防疫協会主催のもと大阪軍政部後援で「大阪美化展」が開催された。これが経費として大阪府、大阪市、大阪防疫協会が各々五萬圓を分担した。朝日新聞社には主としてこれが美化展の周知宣伝方を御願いしたがその開催目的は伝染病予防対策で都市の清掃に関し市民の認識を昂め大阪市街の美観と防疫の実を挙げようとするものであった。

場所は当時の松阪屋百貨店（南区日本橋筋三丁目）とし、会場工作担当として株式会社くろふね社、松阪屋企画部に当らせた。最も苦心した展示物は左記のような内容である。

1. 大阪軍政部貸下資料
2. 上下水道に関する資料器具
3. 大阪市の上下水道の現況
4. 塵芥処理屎尿処分の現況とその改善に関する写真、統計
5. その他の資料
6. 便所に関する資料
7. 井戸に関する資料
8. そ族昆虫に関する資料
9. 防臭剤、防虫、駆虫、駆そ剤及びその使用法
10. 消毒と清掃
11. 都市計画と衛生工学

その他清掃に関する資料

以上のようなものが主であるが附帯事業として、

1. 展覧会期中に大阪市及び各市の清掃功労者を表彰する
2. 消化器系伝染病予防接種所「ダイテング・ステーション」を会場内に特設する
3. 宝塚少女歌劇及び松竹少女歌劇「スター」の特別出演を行う

を実施することとした。

八月一日には午後二時より同百貨店において土田衛生部長、稲葉府会副議長外出席のもとに大阪府下における清掃功労者の表彰式が取行われた。また最終日の八月二〇日には赤間知事が視察に来場せられる等美化展の有終を飾った。

観覧者は一日平均二〇〇名計四〇〇〇名に達した。

なお昭和二六年八月一日より八月一五日まで大阪府、堺市共催の夏季衛生展覧会が堺市龍神会館において開催されたが当協会においてはこれが後援のための寄附並びに宣伝マッチに「手を洗へ」「注射はすんだか、チフスがくるぞ」の標語を記載して入場者に頒布を行った。

◎曽根崎警察署屋上放送施設

かねて協会設立後公共放送宣伝施設の必要性を痛感し葛間署長に対しこれが設置の議を要請中のところその英断的処置をもって許され、これが工事を左記により実施した。

工事請負者
東区北浜五丁目二二
日本建設産業株式会社
機械一式　一〇万一千円
工事費　二万一千円
内訳
日本電気株式会社製
二〇一型増幅器　三万円
六一八ーBマイクロホン　二千五百円
（以下略）

昭和二三年一一月六日午後一時三〇分土田衛生部長、井手防疫、志水公衆衛生、伊藤予防各課長、協会側より吉津会長、塩野副会長、辻野主事が出席して先づ吉津会長の第一声により初放送を行い引続いて各課長の主管事項について放送が行われたが特に税務当局からの依頼に基いて府民の納税のための協力依頼を訴えた。この放送は二年近く行われたが夜間の如きは野田阪神駅附近まで明瞭に聴取できたとの評判であった。

◎雑誌「ヘルス大阪」について

現在協会の機関紙「まこと」が発行出来るようになり五年を経過することになったがそのことについて二度と失敗の記録を作らないようにと重大？決意をもって取りかかったのである。その理由は私達が発行編集など全くの素人の集りであるため大きな危惧の念をいだいていた。幸にして各方面の善意に支えられ「まこと」は遅刊又は大きな失敗もなく二〇号に達することが出来たが昭和二四年五月衛生雑誌「ヘルス」発行の議が衛生部より起った。私はかつて戦前特高課検閲係在職中新聞、雑誌の経営発行がいかに容易の業でないことを見聞してきたので、この衛生雑誌「ヘルス」発行については全く自信なく気乗薄悲観的であったが止むなくその事業を始めたが悲しいかな所謂三号紙の轍を踏まざるを得なくなったばかりか貴重な欠損を出さざるを得なくなり今尚胸を討たれるの思いである。このために「まこと」の今日あるを思い各方面よりいただく御支援に対しましては限りない感謝の念を表しておる次第であり尚今後とも「まこと」発行について一層温かい御配慮を賜わりますようここに謹んで懇願申上げます。

妄言多謝

心境　直堂

年輪徒らに算し功なきを愧ず
想起す三十年発願の春
世情騒然衝を失ふの秋
心機一転挺身して緒道に立を。